

★サキタ・キラリ 北辰の輝き★

～わくわく・きらきらの佐世保北高だより～
★夏のキラリ特集★みんなのキラリを紹介してもらいました★ 2025.8 ①

★かがわ総文祭・美術・工芸部門 3年松尾歩果さん★

高校生美術総合文化祭に参加し、同世代の多様な表現に触れたことで、美術が持つ可能性の広さを改めて感じました。作品には技術だけでなく、その人自身の価値観や考えが込められており、鑑賞を通じて対話しているような感覚を得ました。他者の表現を受け止めることで、自分が何を大切にしたいのかを考える契機となり、創作に向き合う姿勢を深める貴重な経験となりました。これから先、これらの経験を糧としていきます。（松尾歩果）

出品作品：光の憧憬、目覚む時 →



★かがわ総文祭・日本音楽部門 邦楽部★

私たち邦楽部は、香川県で行われた全国高等学校総合文化祭に参加しました。普段の部活動では味わえないようなスケールの大きさに圧倒されました。舞台上に立ったときの緊張感や達成感は、きっと一生忘れない思い出になります。他県の高校生の演奏が聞けたのも、とてもいい経験になりました。たくさんの刺激をもらった分、これからの活動にも活かしていきたいです！（部長：福田真優）



★かがわ総文祭・吹奏楽部門 吹奏楽選抜メンバー ★



佐北、佐西、佐南、西海学園、松浦高校、九州文化学園、香岐商業の7校の代表およそ50名の県北地区選抜バンドとして、香川県のホールで演奏をしました。同じ長崎の県北地区の高校生として、様々な仲間と交流することができ、同じステージに立つ事ができる良い機会にもなりました。また、長崎県にとどまらず、全国の吹奏楽部の人たちと交流ができる貴重な経験となりました。

仲間とともにバスに乗り、新幹線に乗り、ホテルに宿泊し、本番に臨む、このようなことは簡単には経験することはできません。今回の総文祭を良い刺激に、これからも仲間とともに部活動に精進していきたいです。（部長：中村明陽）



★かがわ総文祭・写真部門 2年村川璃音さん★ 奨励賞

作品展では県大会とはレベルが段違いで、圧倒される写真ばかりで驚きました。交流会では青森県や神奈川県など様々な県の代表者とたくさんお話をしました。普段の部活の様子やその県ならではのエピソードを聞くことができとても楽しかったです。

撮影会の日屋島、四国水族館、父母ヶ浜を回りました。特に父母ヶ浜で長い時間粘って夕日を待ち映え写真を撮りました。一日を写真のためだけに使うことができ幸せでした。

表彰式では、写真家の審査員の方々からご意見をいただくことができ、お話することもできました。写真についてより一層学び、興味が深まった3日間でした。（村川璃音）



出品作品：色が実るときまで



※香川での撮影会で撮影した写真も提供してくれました。
(←)父母ヶ浜で粘って撮影した写真です。
先輩にたくさんくるくる回ってもらいました。



(←)四国水族館にいた不思議なクラゲです。

★かがわ総文祭・写真部門 3年狩集百葉さん★

各都道府県の優秀作品が集められた作品展は、とてもレベルが高く鳥肌がたちました。私もこんな写真が撮りたい、どうやって撮ったんだろう、と写真欲が掻き立てられました。交流会では写真についてだけでなく、それぞれの地域についてのお話をしました。長崎弁をとて珍しがられたのが少し誇らしいと共に、日本の広さを改めて知りました。撮影会では高松市内を駆け巡りました。後輩と共に試行錯誤して撮った写真は、一生の宝物です。この香川総文祭で得た知識や経験を糧に、今後も写真ライフを楽しみます！（狩集百葉）

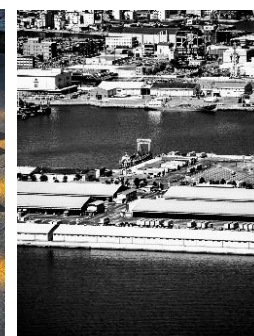


出品作品：片恋 →

※香川での写真も提供してくれました。
(左)地面の写真→高松市のアーケードの地面です。光が面白くて取りました。

(中)シロクロ写真→屋島展望台で撮りました。真ん中の船の一部みたいなのが、鳥居に見えて面白かったです。

(右)夕焼けの写真→父母ヶ浜に行き、後輩にはしゃいで撮りました。



★サキタ・キラリ 北辰の輝き★

～わくわく・きらきらの佐世保北高だより～

★夏のキラリ特集★みんなのキラリを紹介してもらいました★ 2025.8 ②

★インターハイ 空手道競技 3年 盛田源生さん★

今回自分はインターハイ空手道競技の個人形と個人組手に出場しました。結果は個人形と個人組手ともに初戦敗退という結果でした。

自分でももっと上を目指していたからこそとても悔しかったですが、自分自身先のことはばかり考えてしまい初戦に対して向き合い、初戦を絶対勝つと言う気持ちで相手の方が強かったと思います。

普段九州内で身近に競い合っているライバルが2人決勝まで行っていたので、今回の結果は残念でしたが、自分に自信を持つことができました。佐世保北高校のゼッケンを胸に戦える試合は今回が最後となってしまう、ご指導してくださっている坂井先生やその他たくさんの方々に最後に結果で恩返しができずとても悔しいです。

次は長崎県代表として高校最後の試合の国民スポーツ大会に出場します。今回の悔しさをばねにして初戦から1つ1つを大切に、残された時間を全力でがんばります！

応援ありがとうございました。（盛田源生）



★インターハイ 自転車競技 3年 木竹賢心さん★

★7位入賞

鳥取県倉吉市で行われたインターハイ自転車競技に出場しました。九州大会は全国でも短距離で入賞するような強い選手が多い地区で、勝ち上がれるか不安でしたが2年連続で出場できたことは大きな自信となりました。最後の大会ということで緊張するかなと思いましたが、意外にも平常心で臨むことができました。それでも佐世保競輪場と1周の長さが違ったり、暑さに苦しんだりして思うようにいかず、決勝では駆け引きの面で課題も残りました。それでも全国大会を2回も走れた貴重な経験を活かし、今後の人生に生かしていきたいと思います。

（木竹賢心）



★インターハイ アーチェリー競技 3年前田智裕さん★

長崎県代表として山口県で行われたアーチェリー競技個人戦に参加してきました。初めての全国大会で緊張しました。天気が心配だったのですが試合当日は雨の降らず、とてもいいコンディションで試合をすることができたので良かったです。いろいろな人の射形を見て、自分もいい刺激をもらうことができました。最後の試合を楽しむことができて良かったです。（前田智裕）



★全九州高等学校水泳競技大会 3年 金子咲希さん★

私は3歳から始めて14年間水泳をしました。始めて試合に出たのが小学1年生くらいで、初めてのことでばかりで緊張したのはいまでも覚えてます。笑。大会で新記録が出た時もベストが出た時も、ライバルに負けて泣いた時も色々な事があったけど全て凄いい宝物です。水泳があるのが当たり前の生活だったので、もう引退って考えると凄く早いし寂しいです。水泳があったから負けず嫌いになったし、自信を持てたし友達も先生たちとも仲間も持てて、沢山のことを学ぶ事ができました！この経験は凄いい大切だったなと思います。次は気持ちを切り替えてしっかり次の自分の目標に向かってがんばりたいです!!

（金子咲希）



★野球部キャプテン 3年 吉住太陽さん★

ベスト8という結果を残した夏。大会を終えた「夏」の思いを語ってくれました

受験の天王山ともいわれる夏休み。夏休み前、休みの日も朝から夕方まで、野球に打ち込む毎日終了し、前を向けない日が数日あった。それでも様々な人の支えもあって、切り替えて学習に取り組めた。夏休み入ってすぐは学習会があり、仲間の背中を見ながらする学習はとても充実したものだった。この夏は朝の時間の重要性に気づくことができた。今まで休みの日は昼頃に起きる生活をしていたが、朝いつも通りに起き、勉強することで一日の集中力を高く保つことができた。一日最低10時間を目標にし、長時間勉強に向き合うために、一日のTo doリストを作ったり、場所を変えたりと工夫した。それでも休憩を必要以上に長くしてしまうことや睡魔に負けることもあり、そこはまだ自分が本当の受験生になれていない部分かなと思う。塾の先生からは夢でも問題を解くくらい勉強のことを一日中考えないと本当の受験生ではないと言われている。

自分はまだまだだなと感じた。二学期は模試も増え、夏休み以上に自分の勉強ができなくなるだろう。だからこそ毎日の授業、時間の使い方を改め、志望校に合格できるように頑張りたい。（吉住太陽）



★サキタ・キラリ 北辰の輝き★

～わくわく・きらきらの佐世保北高だより～

★夏のキラリ特集★みんなのキラリを紹介してもらいました★ 2025.8 ③

★ 高校2年・離島医療体験 7/12～13 ★ 進路指導部企画 ～上五島病院で学びました～



✦2年納屋佳央さん

今回の体験では、見る・聞くだけでなく、1つの問題について自分たち自身で意見をもって議論を重ね、それを発表して病院の先生に聞いてもらう、ということもできました。議論を重ねていくと、自分と他の人の考えの違いがよくみえて、楽しかったです。他の人の意見に自分の意見を重ねて、プレゼン、という形でまた他人にみんなで考え、伝え合うことで、また考え方の視点が増えるような気がしました。将来、医療、という道に進み、人の命を預かる以上、判断が難しい場面に出会うことは少なくないでしょう。しかし、今回の体験のように、自分の明確な考えをもつこと、それをもって他の人と話し合い、そのときの最適解といえる答えを出し、考え続けることを大切にしたいと思いました。特に、自分の意見を持つだけでなく、様々な人にそれを聞いてもらい、その人の意見も聞くことが大事なのではないか、と考えました。



✦中村暁さん

離島医療で生活を支える医師の姿を実感し、医療と生活の近さなどを学びました。将来に役立てたいです！

✦石井ゆかさん

離島医療の課題や医師の方々の苦勞がよくわかり、将来へのイメージも膨らませることができました。

✦永田結愛さん

今回の体験を通してより将来医療に関わりたいと思う気持ちが大きくなったのでこの気持ちを忘れることなく勉強に励みたいと思いました。



★イングリッシュキャンプ★

開催日：7月19・20日

主催：長崎県高等学校国際教育研究協議会

活動概要：2日間の英語を主言語にした交流会・ワークショップ

✦2年山口弓月さん

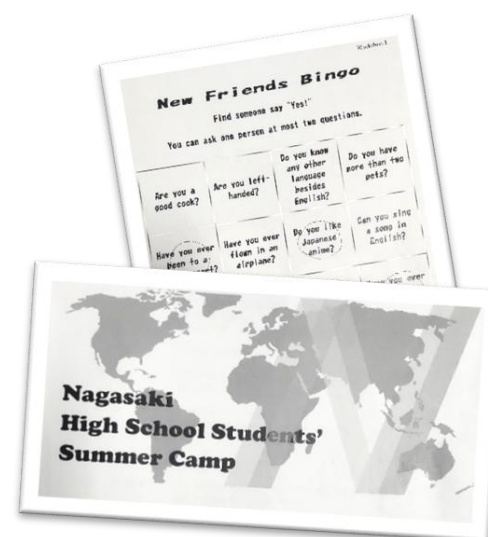
高校生夏季研修会は、国立諫早青少年自然の家で国際理解の意義について考え深める目的で行われています。この活動では、先生方が選んでくださったテーマについて英語で意見交換を行い、最終日にはプレゼンテーションを行います。この活動の、一番の魅力は自由時間にALTの先生といろいろな会話をすることができるところです。私たちは将棋のルールを説明しながら一緒に将棋をしたり、囲碁をしたりなど、とても楽しく英語を学び、英語で会話することができました！

英語が苦手でも引率の先生方やALTの先生方が優しく対応してくださるので心配いりません！



✦2年生 下迫さくらさん

昨年に引き続き二度目の参加となりましたが、日常生活で案外使うことがほとんどない英語を用いて会話できるという貴重な体験ができて非常に有意義だったし、楽しかったです。長崎県全域の10校以上から高校生が集まるので、同じ学校の人にとどまらず様々な人と交流できるのもこのイベントのいいところだと思います。活動は英語での会話がメインなのでハードルが高く感じる人も少なくないと思いますが、参加されたALTの先生方はみんな優しく、拙い英語でも理解を示してくれるので心配いらないと思います。今後の英語学習に意欲的に取り組んでいこうと思うきっかけになりました。



✦2年 大久保美穂さん

私はこのEnglish Campに参加して、①英語に対する意欲の大切さと②自分の英語力の乏しさを実感しました。ECでは県内から集まった高校生やALTと共に様々なプログラムを行い、最終日には班ごとにプレゼンを行います。私は自分の班の担当だったALTの出身地であるフランスの産業の課題と解決策を話し合い、ポスターにまとめて発表しました。

また、ECではプログラム外でもALTと共に過ごします。一緒に将棋や囲碁をしたり、お互いの好きな歌手について語り合ったりしました。文化や芸術は言語の違いを超えてわかり合うことができ素晴らしいなとも実感しました。

参加して「今、自分に何が足りず、何をすべきか」を明確に把握できたと感じます。今回の経験や反省を生かし、これからの英語の学習につなげたいと思いました。

★サキタ・キラリ 北辰の輝き★

～わくわく・きらきらの佐世保北高だより～

★夏のキラリ特集★みんなのキラリを紹介してもらいました★ 2025.8 ④

★長崎県超小型衛星チャレンジ★1年宮本葵さん



開催日：8月5～8日

主 催：長崎県

活動概要：長崎県の高校生の手で、超小型衛星を設計・製作し、軌道投入・運用・軌道離脱するもので、その過程を通じて宇宙人材の育成を目的としている。選抜メンバーが6月から継続的に活動している。

今回は超小型衛星を作るための勉強をするために福岡の小倉に行きました。超小型衛星とは10×10×10センチのとても小さい衛星のことです。安く早く打ち上げることができるので開発されてからは民間企業などからもたくさん打ち上げられているようです。



この4日間の間にマイクロコントローラーという電子機器を制御するための小型コンピューターのプログラミング方法やはんだ付けの練習をしたり、北九州工業大学に行って超小型衛星試験センターの見学や人工衛星を作るときのことを習ったりしました。プログラミングをするのは初めてだったので、Pythonというプログラミング言語を打ち込むのは大変でしたが、指示した通りにランプが光ったり、数値が出てきたりするのを見て感動しました。また、北九州工業大学では、実際に衛星を作り試験したり、通信したりできる施設を見ることができて楽しかったです。北九州工業大学の教授に衛星のミッション(その衛星が宇宙でなにをするか)を決めるためにすることを教えていただいたのですが、普段の生活で何か大事なことを決めるときにも応用できそうでとても面白かったです。

これから、やりたいこと別に集まった3～5人の班でミッションを決めていきます。いよいよ衛星を作るために動き出したみたいなのがワクワクしています。衛星を実際に作って打ち上げるのは私が大学生になった時だと思いますが、一期生としてこの活動に参加できてとてもうれしいです。これからあと一年半頑張りたいと思います。

(宮本 葵)

★アントレプレナーシップゼミ2025 Summer★ 2年 岡村勇信さん

開催日：8月31日(最終発表日) 6月29日～8月30日(準備期間)

主 催：長崎県教育委員会

活動概要：長崎県の高校生が集まり、学校、学年関係なくチームを組んでビジネスプランを考える。それを起業家の方々にプレゼンし、評価していただく。



今回のイベントでは、「2ヶ月間でビジネスプランを考え発表する」ということで本当に時間が足りず、課題や部活で忙しいながらも時間を見つけ、プランを練っていく日々でした。学校選抜で選ばれた時は、本当に嬉しく、他校の高校生とも仲良くできると良いなと軽い気持ちでいましたが、実際は自分の未熟さを自覚するばかりで、何度も「疲れた」という言葉を口にしました。もちろん100%楽しかったと言えば嘘にはなりますが、知らない世界を見れたこと、今まで知らなかった知識を得られたことは、心の底から良かったと思っています。今後ビジネスコンテストにも出場しようと考えているので頑張ります。(岡村勇信)

★長崎県代表★全日本珠算選手権大会★ 1年 村山理仁さん



開催日：8月8日(そろばんの日)

主 催：公益社団法人 全国珠算教育連盟
会 場：国立京都国際会館

6～75歳の各都道府県の代表、731人でそろばんの腕を競いました。出場者の多くは珠算、暗算ともに最高位の十段を持っています。私も暗算は十段で3回目の出場でした。競技はプリント(実際の段位検定と同等の問題を半分の時間で解く)、フラッシュ暗算、読上算、読上暗算、都道府県対抗があり、テレビに出るような強者も出場します。入賞することはできませんでしたが、自分の中で手ごたえを感じることができました。この経験で自分が何をすべきかを明確にできたので、練習に生かしたいです。また、九段の珠算とフラッシュ暗算で十段取得、九州大会のような大きな大会で上位入賞できるよう頑張ります。(村山理仁)

★サキタ・キラリ 北辰の輝き★

～わくわく・きらきの佐世保北高だより～

★夏のキラリ特集★みんなのキラリを紹介してもらいました★ 2025.8 ⑤

★On Your Mark 福岡未来創造キャンプ★ 2年 石橋友海さん ～他者との関わりの中で自分発見～

開催日：8月11～16日

主 催：福岡未来創造キャンプ委員会

活動概要：九州の高校生が福岡に集まり
色々な活動を行う中で、自分の可能性や
世界への視野を広げる。



- ・自分を表現すること、挑戦することの楽しさを感じた。
→私は人前で意見を言ったり、自分を表現したりすることが苦手だったがOYMでは互いを尊重し受け入れる雰囲気があったため、自分から意見を言ったり、たくさんの人と意見交換をした。それがすごく楽しかった。
- ・たくさんの刺激を受けた
→同い年の高校生がとても流暢に英語を話している姿を見て驚いたし、自分ももっと英語を話したい！さらに海外カウンセラーと英語で全然会話できず、もっと英語を勉強しようと思った。
- たくさんの情熱を持った仲間たちを見て自分も負けていけないと思った。
- ・視野が広がった
→キャンプの活動を通し、世界の色々な問題に触れた（海外カウンセラーから生の声を聞くことができる）。
- 自分とは全く違う意見を持った人たちと交流し、今まで自分が考えたことのない視点で物事を見ることができた。
- ・最高の仲間ができた！
→将来に対し情熱を持ち、互いに遠慮なく意見を言い合えて、自分が泣けば一緒に涙を流してくれるような、心から信頼できる仲間に出会えた。
- ・自分のしたいことが明確になった
→OYMでは夢を語り合う時間があり、将来の夢や夢に対する考えを語り合う中で自分がしたいことが明確になった気がする。

英語が好きな人や苦手な人、海外に興味がある人、自分を表現するのが得意な人や苦手な人、どんな人でもこのキャンプに興味を持ったら参加してほしい！
他のキャンプでは体験できないことが、体験できる。（石橋友海）

★大野地区の住民をカードゲームに！！

にしQ人カードを販売しました★

3年 丸山和輝さん・杉本さやかさん・新野陽梨さん・田中寿璃さん

開催日：8月17日

主 催：坂の下公民館



大野地区の住民をキャラクターとしたカードゲームを製作しており、ついに市民の前に出せることとなりました。50セット超手に取ってもらい、多くの方に知ってもらえたことのできたと感じています。子供たちが目の前で遊んでくれたり、カードをきっかけとした交流が生まれたり、買うために来てくれた人がいたり十分効果がありました。



各メディア（長崎新聞・テレビ佐世保・ならでわ！・広報させぼ）への対応や次のイベント（おおのくんち・公共交通ふれあいフェスタ・大野自治協まつり・jamfes等）を拡大していき多くの人に知ってもらったうえで持続的なものとしていきたいです。（丸山和輝）

★先輩に聞こう！進路相談&交流会★イベント

3年松田笑実花さん・松本栞奈さん

8月31日（日）第1部9：00～11：00、第2部14：00～16：00

会場：on℃（マチ×学生×企業の街づくり拠点）

概要：県内で働いていらっしゃる社会人の大先輩にも相談できちゃうイベント

イベント交流を通して、学校ではなかなか聞けない進路選択の決め手や勉強法を共有でき、とても有意義な時間を過ごせました！

友達の得意科目も知ることができたので、お互いの得意を教え合って高め合うこともでき、いい機会になったと思います。

またイベントは今後も開催予定ですので、積極的な参加をお待ちしております☆（松田笑実花）



★サキタ・キラリ 北辰の輝き★

～わくわく・きらきの佐世保北高だより～

★夏のキラリ特集★みんなのキラリを紹介してもらいました★ 2025.8 ⑥

★九州大学未来創成科学者育成プロジェクト★

九州大学が、将来グローバルに活躍する次世代の傑出した科学技術人材を育成するために実施する高校生対象の教育プロジェクトです。約800名の応募者から選抜を経て、受講者が決定します。

7月26日（土）、九州大学伊都キャンパスにてプライマリーコース開講式が開催されました。

★1年 中村優海さん

私は夏休みに、九州未来創成科学者育成プロジェクト（QFC）というイベントに参加しました。QFCは7つのコースから自分の興味のあるコースを選び、九州大学の教授たちから大学の講義レベルの授業を受けます。また、QFCを修了した人の中で、試験に合格した人が次の段階に進み、大学教授の研究室に入って、自分の興味のあることを一年かけて研究することもできます。

私が行ったコースは、Interdisciplinarity&Identityコースです。このコースは、いわゆる文理融合型です。

心理学や、自然学、政治学、国際関係学、歴史学など幅広い分野を学びました。特に印象深かったのは、貿易ゲームというゲームをして国際関係を学んでいく講座でした。他にも多種多様で、興味深い講義がたくさんありました。様々な知識がただでなく、自分が何に興味があるのかを知るきっかけにもなると思うので、皆さんも時間があったらぜひQFCに参加してみてください。



★1年 浦田麻衣さん

私は、九州大学主催の未来創成科学者育成プロジェクトに参加しました。このプロジェクトでは科学に関する知識を各分野ごとに講義形式で学ぶことができ、Life Science & Health Careという医療系のコースで、実際に大学教授の方々の講義を受けさせていただきました。主に医学の倫理や再生医療、歯科医学などについて学び、新しい知識を得ました。グループディスカッションを他県の高校生と行い、自分の考えを交換するとともに、理解を深めました。医学の倫理についての講義では、患者さんの状況に最適な治療計画を医療従事者は提案し、患者さん自身の意思を尊重していくことの大切さを学びました。探究活動ではできない学びが多くあり、とても貴重な経験でした。このプロジェクトで将来の夢の選択肢が広がったように感じます。

これからはリサーチで、自分が学びたい内容についてさらに学習し、努力に励みたいと思います。

★アメリカ・ホームステイ 2年前田生成さん★

今夏、私は単身渡米した。目的は米国文化の体感と比較で、4週の滞在期間は父の伝手を頼ったホームステイだ。紙幅の都合上、米国での時間を詳述できないが、自分自身にとって非常に新鮮で、有意義なものとなった。

滞在中、現地高校生と交流する機会も得た。彼らは当然に将来目標を持ち、その実現に向けて勉強し、社会活動に参画していることに驚かされた。同年代ながら、自主性をもって勉強に向き合う様子に刺激を受けた。今回の経験は多くの人にも支えられた。感謝の気持ちとともに、経験を自分の力に変え、自身の目標実現に邁進したい。

（前田生成）



ホストファミリーと



世界大学ランキング15位
ペンシルベニア大学
キャンパスの1つ

★ホームステイに行こう！ 2年ト部瑛大さん★

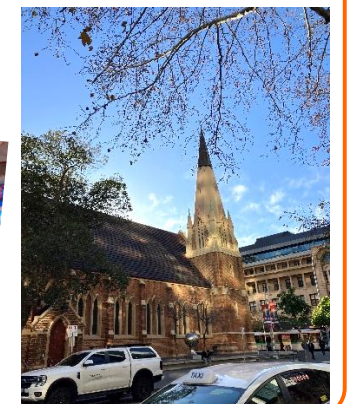
私は7月末から8日間のオーストラリア留学に行ってきました。ものすごく楽しく、本当にいい経験ができたと思っているので、迷っている人は是非参考にしてください！

現地の観光名所、短大（一緒に授業を受けました）、動物園（コアラとカンガルーに触ってきました！なんならカンガルーは食べました）、ゲーセン、ショッピングなどいろいろなところに行きました。中でも楽しかったが現地の幼稚園です。

そこで、現地の子供たちと、踊って、サッカーをして、ゲームをしていろいろな遊び、とても楽しく、また日本との違い（オーストラリアでは人と人の距離がとっても近い！）やそこから生まれる価値観の違いなどにも気づかされる学びの多い経験でした。

また、ホストファミリー（4泊）との生活も最高でした。現地の料理と一緒に作ったり、ボーリングに行ったり、また一緒にゲームをしたりとずっと楽しくさせてもらいました。将来私も留学生を受け入れる側になろうと思わせてくれるほど、すごくよくしてくださりました。

文句なしの留学でした。迷っている理由が不安ならチャレンジしてみてください！絶対に後悔はしません。（ト部瑛大）



★サキタ・キラリ 北辰の輝き★

～わくわく・きらきの佐世保北高だより～

★夏のキラリ特集★みんなのキラリを紹介してもらいました★ 2025.8 ⑦

★アメリカ・シリコンバレー研修★

2年 原 明日馬さん

～アメリカの長崎県人会からお招きいただきました～

北カリフォルニア長崎県人会が、グローバルな視点を若者に養ってもらおうと高校生の研修プログラムを初めて企画し、12人の応募から原さんが選ばれました。

原さんは8月23日から8日間の日程で、シリコンバレーでグーグルやアップルなど世界トップクラスの企業を訪れるなどしました。



この夏、私は長崎未来型シリコンバレー研修に参加してきました。高校生や大学生、そして現地で活躍する起業家・投資家の方々と直接交流し、日本には絶対に味わえない空気やスピード感を肌で感じることができました。最初は、初めての海外という事や、知り合いがいない中で生活できるのかなど不安でいっぱいでした。

しかし、コミュニケーションを積極的にとるうちに、生活を共にした高専生や大学生、社会人の皆さんと仲良くなることが出来ました。また、拙い英語でも一生懸命に伝えようとすると、現地の相手は必ず耳を傾けてくれました。ジェスチャーや表情、そして何より「伝えたい」という気持ちさえあれば、言葉の壁は乗り越えられると実感しました。実際に、学生と夜遅くまで議論したり、起業家の方に直接質問したりと、日本ではできないような体験を積み重ねることができました。



この経験を通して一番感じたのは、「挑戦すること自体がものすごく面白い」ということです。不安や失敗の可能性を理由に一步を踏み出さなかったら、今回のような出会いや学びは絶対に得られなかったと思います。今回の研修を通して、自分の視野の広がりや考え方の柔軟さが変わりました。研修で得た学びや人脈を活かしこれからもより成長していきたいです。（原明日馬）



★小学校訪問を通じての楽しさと学び★

2年 ト部瑛大 浦田紳太郎 前田清正 渡会修平 平山虎徹 佐々木勇人

私たちは、高校1年次の探究の学習で佐世保の活性化について取り組みました。その活動として、小学校に訪問することによって2つの成果を見込んでいました。1つは佐世保について知ってもらうこと。もう1つは九十九島パールシーについてプレゼンし、代わりに景品を用意してもらうという双方に利がある経済行為を行うことです。

九十九島パールシー様、また3つの小学校様と交渉し、訪問が実現し、今回の成果が得られました。その中で面白かったこと、勉強になったことを共有したいと思います。



1つ目は、小学生は私たちが思っているよりも元気で楽しく、はしゃぎまくっていることです。彼らと話しているときは常にフルテンションで話さないといけませんでした。とても楽しく、また皆ととてもかわいかったです。

2つ目は、大人と交渉することの大変さです。当たり前ですが、すべての組織は利がある時しか動いてくれず、如何に私たちが価値提供できるかを示さなければなりません。こちらの利があるよう条件を付けながら交渉し、時に妥協しというのは大人の世界に足を踏み入れたようで普通の生活をしていたら得られないワクワクを得られました。

反省点も多い活動でしたが、多くを班のメンバーに助けられました。はっきりいうと、学年の中で一番充実した活動にできた自信があります。皆さんも楽しそうと思える活動に、全力を注いでみてはどうでしょうか。（ト部瑛大）

★番外編・卒業生企画★卒業生との座談会★

77回生 橋本快さん（東京大） 本村勇仁さん（北海道大）

山内優希さん（神戸大） 中村直承さん（慶応大） 中野結花さん（九州大）

「長崎県ではなかなか触れられない生の情報があるのでは」と昨年卒業した77回生・橋本快さん（東大1年）が自主的に企画してくれた座談会。橋本さんからの『自分の志望大学の先輩や知っている先輩がいる人はもちろん、勉強にマンネリ化しつつある3年生も、まだ受験のじの字も頭にないが何となく興味がある1,2年生も、学年・文理問わず大歓迎です！』とのメッセージに、在校生たちが集まりました。卒業生とのつながりも佐北の強みですね。（高副校長）

